

令和5年度第1回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

1 日 時

令和5年6月27日（火） 午前9時57分から10時25分

2 場 所

青梅市役所 議会棟3階 第3委員会室

3 出席者

[出席委員]

菊池一夫委員	川合純委員	原島正之委員
手塚幸子委員	宇津木順一委員	田邊晃委員
下野剛委員	小峰美恵子委員	加藤弘吉委員
田中俊美委員		

[出席青梅市職員]

浜中市長以下10名

4 議事概要

(1) 市長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 青梅市行財政改革推進委員会の取組みについて 【DX推進課長説明】

・令和3年度～令和4年度における委員会の取組の報告

(4) その他

ア 今期2年間の取組を振り返っての各委員の主な感想・意見

- ・かなり踏み込んだ意見を出すことができ、この2年間、おそらく普通とは違った行財政改革委員会にできたのではないかと感じている。批判することばかりではなく、非常に前向きに、少しでも青梅市を良くしようという意見が多く出される中で議論できたことが本当に良かった。
- ・出来上がったプランに多くの意見を掲載していただき感謝している。このプランが今後どう生かされていくのか期待している。
- ・委員の皆様から様々な問題提起があり、大変勉強になった。この委員会での議論を日頃活動している団体に戻った際に報告したところ、色々な面で問題意識を持って活動をしていくことが必要だという気づきにつながった。皆様から素晴らしい意見を聞いたことに大変感謝している。
- ・新たに作り上げた行財政改革推進プランを、今後、青梅市が実際の行政に当てはめていくということを切にお願いしたい。
- ・第1回目の委員会から参加させていただき、大変勉強になった。新たな計画をまと

めることができたが、5年間に渡る膨大な計画であり、ぜひとも気を引き締めて実行していただき、成功するように祈っている。

- ・今回の活動において、成果としてアウトプットされた結果を実行できるかどうかことが重要である。5年間というスパンなので、現在の社会情勢を踏まえるとかなり変化があると考え。そのため毎年強力にプランの見直しを行い、修正をかけていく必要があると考えている。邦暦から西暦の表記もしてほしいということでプランにも追加していただいたが、いまだに邦暦で出てくる資料がある。世界の中で見ても、色々な意味で日本の国力が落ちているという評価も出ており、ガラパゴス化するのではないかと危惧している。青梅市は自然豊かな魅力があり、うまくすれば住みやすい場所になり得るので、人口減少が止まらない状況ではあるが、今後も常に見直しながら行財政改革を実行することで、より良い青梅になることを期待している。
- ・委員の皆様がの青梅に対する積極的な意見、色々な考え方を聞いて大変勉強になった。働く人たちにとってより良い青梅となるよう、今後も市政に働きかけていきたい。
- ・市民の皆様のためにと考え、できるだけ意見をできるようにという気持ちで参加してきた。ついつい目先のことであったり、その時々課題について考えがちであるが、長期的な視点も併せ持って行財政改革に取り組んでいくことが肝要と感じている。
- ・行財政を変革していくためには、市民も市の職員も意識改革が最も大事である。青梅市としても行財政や様々な委員会を設けて、改革に向けて努力されているが、それに関して、ほとんどの市民は青梅市が何をやっているのか知らないと思う。周知をする努力は色々しているとは思いますが、当委員会における取組についても市民の皆様にご協力いただき努力が必要であり、全員が意識を改革して、青梅の魅力を高めて人口増加を図っていただきたい。
- ・委員の皆様から色々な意見をいただき感謝している。どの立場から話をするかによって大分見解が変わる。行政の立場や苦労があることを考慮しつつも、今の時代は、市民の立場から考えて変えなくてはならないことも多くあり、行政の皆様が気づかないところや目が届かないところについて、委員の皆様と力を合わせて提言としてまとめることができ良かったと感じている。ぜひ提言をご活用いただき、より良い行政につなげていただければ委員会として幸いに思う。2年間ありがとうございました。

イ 今期委員の任期満了に対し、浜中市長より御礼あいさつ

以 上